

明治学院大学 2015 公開セミナー

垣根を越えて

開催場所 明治学院大学 横浜キャンパス 720教室 (7号館2階 定員500名)

開催日時 2015年11月17・24日 12月1・8日 毎週火曜日 全4回
16時45分～18時15分

無料
申込不要

直接会場に
お越しください

私たちの周囲には様々な垣根があります。隣の家との垣根、国と国との垣根、あるいは人と人との間や異なる文化の間にも垣根はあるでしょう。内と外とを隔てる垣根の内側に留まっていれば安心感は得られますが、一方で、外部から遮断された閉塞感が生まれてしまうかもしれません。

今回のセミナーでは、「垣根を越えて」異なった世界への扉を押し開き、新たな文化交流の可能性を考えていきたいと思います。

第1回
11/17

上野 千鶴子
(社会学者、東京大学名誉教授)

×

高橋 源一郎
(明治学院大学 国際学部教授)

「おひとりさまの最期」

第2回
11/24

児玉 実英
(同志社女子大学元学長、同大学名誉教授)

×

森 あおい
(明治学院大学 国際学部教授)

「ジャポニズムの波動ーアメリカで意外な展開」

第3回
12/1

柄谷 行人
(哲学者)

×

原 武史
(明治学院大学 国際学部教授)

「東アジアの王権・天皇制・皇后」

第4回
12/8

磯崎 新
(建築家)

×

原 武史
(明治学院大学 国際学部教授)

「東京オリンピックと皇居前広場」

大学構内および近隣に駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

問合せ先 明治学院大学 国際学部附属研究所
TEL. 045-863-2267 (平日 10時～17時)

WEB <http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/>

上野 千鶴子

うえの・ちづこ

1948 年生まれ

立命館大学特別招聘教授、社会学者

東京大学名誉教授。認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長。専門は女性学、ジェンダー研究。高齢者の介護問題にも関わっている。著書に『近代家族の成立と終焉』(岩波書店、1994 年、サントリー学芸賞)、『老いる準備』(学陽書房、2005 年)、『おひとりさまの老後』(法研、2007 年)、『みんな「おひとりさま」』(青灯社、2012 年)、『ナショナリズムとジェンダー』(岩波現代新書、2012 年)、『古い方上手』(共著、WAVE 出版、2014 年)、『ケアのカリスマたち』(垂紀書房、2015 年)など。2012 年度朝日賞受賞。

児玉 実英

こたま・さねひで

1932 年生まれ

同志社女子大学元学長、同大学名誉教授

専門はアメリカ文学、比較文学。日本比較文学会、国際比較文学会、日本アメリカ学会などの理事、日本エズラ・パウンド協会の会長を歴任。著書に、『*American Poetry and Japanese Culture* (Archon, 1984)、*Esra Pound and Japan: Letters and Essays* (Black Swan, 1987)、『アメリカのジャポニズム』(中央公論社、1995)、『アメリカの詩』(英宝社、2005)などがある。2009 年、瑞宝中綬章を受章。

柄谷 行人

からたに・こうじん

1941 年生まれ

哲学者

哲学者、文芸評論家。著書に『マルクスその可能性の中心』(講談社学術文庫、1990 年、亀井勝一郎賞受賞)、『探究 I』『探究 II』(講談社学術文庫、1992 年)、『定本柄谷行人集』全 5 巻(岩波書店、2004 年)、『坂口安吾と中上健次』(講談社学芸文庫、2006 年、伊藤整文学賞受賞)、『世界史の構造』(岩波書店、2010 年)、『哲学の起源』(岩波書店、2012 年、紀伊国屋じんぶん大賞受賞)、『帝国の構造』(青土社、2014 年)など。

磯崎 新

いそざき・あらた

1931 年生まれ

建築家

作品に大分県立大分図書館(1967 年、建築学会賞作品賞受賞)、大阪万博お祭り広場(1970 年、丹下健三と共同)、群馬県立近代美術館(1975 年、建築学会賞作品賞受賞)、つくばセンタービル(1983 年)、ロサンゼルス現代美術館(1986 年)、水戸芸術館(1990 年)。著書に『建築の解体』(美術出版社、1975 年)、『建築における「日本的なもの」』(新潮社、2003 年)、『日本建築思想史』(太田出版、2015 年)など。ほかに芸術選奨新人賞、朝日賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ建築展金獅子賞などを受賞。

高橋 源一郎

たかはし・げんいちろう

1951 年生まれ

明治学院大学教授、作家、文芸評論家

著書に、『優雅で感傷的な日本野球』(河出書房新社、1988 年、三島由紀夫賞受賞)、『日本文学盛衰史』(講談社、2001 年、伊藤整文学賞受賞)、『さよならクリストファー・ロビン』(新潮社、2012 年、谷崎潤一郎賞受賞)、『101 年目の孤独ー希望の場所を求めて』(岩波書店、2013 年)、『弱さの思想ーたそがれを抱きしめる』(辻信一との共著、太月書店、2014 年)、『動物記』(河出書房新社、2015 年)、『ぼくらの民主主義なんだぜ』(朝日新書、2015 年)。朝日新聞で「論壇時評」を連載中。NHK ラジオ第 1「すっぴん!」金曜日パーソナリティ。

森 あおい

もり・あおい

1958 年生まれ

明治学院大学教授、アメリカ文学者

専門はアメリカ文学、アメリカ文化。著書に『*Toni Morrison and Womanist Discourse* (New York: Peter Lang, 1999)、『トニ・モリスン「パラダイス」を読む』(彩流社、2009)、主要論文に「アフリカ系アメリカ人の音楽・文学に見る人種意識の変遷ー W.E.B. デュボイスからポストソウル世代の科尔ソン・ホワイトヘッドにいたるまでー」(『ことばが語るもの』、英宝社、2012)、「甦るゾラ・ニール・ハーストンの戯曲ー「ボーク・カウンティ」を中心にー」(『エスニック研究のフロンティア』、金星堂、2014)など。2000 年トニ・モリスン学会図書出版賞受賞。

原 武史

はら・たけし

1962 年生まれ

明治学院大学教授、政治学者

専門は日本政治思想史。著書に、『「民都」大阪対「帝都」東京』(講談社選書メチエ、1998 年、サントリー学芸賞受賞)、『大正天皇』(朝日新聞社、2000 年、毎日出版文化賞受賞)、『滝山コミュニティー九七四』(講談社、2007 年、講談社ノンフィクション賞受賞)、『昭和天皇』(岩波新書、2008 年、司馬遼太郎賞受賞)、『レッドアローとスターハウスーもうひとつの戦後思想史ー』(新潮社、2012 年)、『完本皇居前広場』(文春学藝ライブラリー、2014 年)、『知の訓練ー日本にとって政治とは何かー』(新潮新書、2014 年)、『皇后考』(講談社、2015 年)など。

国際学部付属研究所

Institute for International Studies

1989 年 国際学部の付属として設立

国際学部付属研究所は、国際学に関する学際的な共同研究ならびに個人研究を誘発し、これらを実施、推進するために創立されました。

研究所の主な活動としては、以下があげられます。

- (1) 共同研究プロジェクトの促進
- (2) シンポジウム、セミナー、フォーラム、講演会の開催
- (3) 研究成果の公表と教育へのフィードバック
- (4) データベースの構築
- (5) 公開講座の企画

従来の学問領域の区分を超えた「国際学」の構築を目指し、共同研究の拠点として所員のあるいは研究員の利用に供せられています。

一般に公開するシンポジウム・セミナー・公開講座の開催は、当研究所ホームページ <http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/> で、随時お知らせしています。刊行した『国際学研究』『研究所年報』は、本学図書館機関リポジトリ <http://repository.meijigakuin.ac.jp/> 国際学部、からご覧いただけます。

◆アクセス◆

J R 戸塚駅東口バスターミナル 8 番乗り場より、江ノ電バス「明治学院大学南門(・平島)」行に乗り、「明治学院大学南門」にて下車(乗車約 7 分)